



地域

看護学講座



●講座紹介

私たちの講座は、地域に暮らす子どもから大人まで、あらゆる年代層の方々を看護の対象ととらえ、ひとりひとりの健康を支えるために必要なことを講義や演習・実習を通じて考えていきます。看護師の資格を取得するための学習だけでなく、保健師国家試験受験資格取得や養護教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状(保健)取得のための科目を担当しています。

★在宅看護学★

訪問看護演習の様子

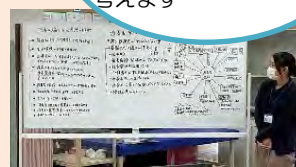


訪問看護ステーション・地域包括支援センター
それぞれの「場」の活動について実習で学びます



在宅で暮らす方の希望をかなえる
看護について考えながら演習や
実習を展開します。

実習報告会の様子



地域包括支援セン
ター等での実習も踏ま
え、地域で暮らす方を
支える仕組みについて
考えます



★学校保健看護学★

小・中学校では保健指導を高等
学校では保健学習を実習します



健康診断参観実習の様子



心身の健康管理と健康教育を
通して、子どもの人格形成に
かかわる養護教諭の資格を得
るため、小、中、高等学校で
養護・教育実習をします！



ラーニング・サポーターと
して滝沢市内の小・中学生
に学習支援を行うボラン
ティア活動もあります！

★地域保健看護学★

寸劇を取り入れた
地域住民への健康教育

地域で暮らす人々が健康
に生活できるよう支援す
る保健師の活動について
学びます！



実習後は
学内で振り返り

グループワークで
学びを共有しています!!

●卒業後の継続支援●

- ★訪問看護ステーションに就職した卒業直後の看護師を、育成プログラムによりサポートしています(岩手県/岩手県看護協会事業)。
- ★仕事の中で困っていることや乗り越えたコツなどを身近な存在である卒業生同士で共有することで、明日からもまたいきいきと仕事ができるよう、「けんだい訪看」、「さっくらネット」、「男性保健師会」、「IPU ほけんしつ」を開催しています。

地域看護学講座の研究活動

岩手県久慈市における子宮頸がん検診受診率向上に向けた取り組み

1 尾無 徹 2 細川 舞 3 及川 紳代 4 新田 義修

1, 2, 3: 岩手県立大学看護学部、4: 岩手県立大学総合政策学部

久慈市において子宮頸がん検診の受診率が低いという課題を受け、久慈市と岩手県立大学が協働して調査を実施しました。

住民約1,300名のご協力を得て、子宮頸がん検診の受診要因および未受診要因を分析した結果、**20～30代の若年層では「保健師からの受診勧奨」が受診行動につながる**ことが明らかになりました。一方で、未受診の要因としては「検診の実施時期がわからない」など、情報が届いていないことが示されました。



そこで
産学官連携で課題解決の取り組みを実施！！

検診に関する情報をより多くの住民の皆さまに届けるため、**株式会社サステナ（産）・岩手県立大学（学）・久慈市（官）の三者が連携し、YouTube広告や学習型動画の作成、久慈市公式LINEや保健師の活動を活用した情報発信に取り組んでいます。**これらを通じて、より多くの方が検診を受診できる仕組みづくりを進めています。

公式LINE・Xへの登録
促進もしています★

Research Results

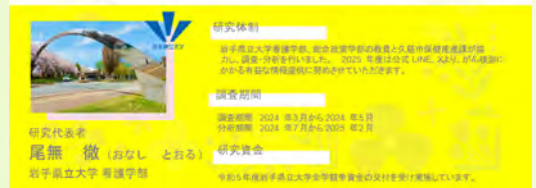
岩手県立大学看護学部は久慈市と協働し、乳がん・子宮がん検診の受診理由および未受診の理由について調査を実施いたしました。

その結果、以下のことがわかりました。

- 20代、30代の方は、家庭から検診を勧められると、進められたいと比べて、約3倍の人ががん検診を受診する事がわかりました。また、働いている人の方が約2.9倍がん検診を受診する事がわかりました。家族や職場内でがん検診を話題にし、市の検診を受けましょう。
- 20代、30代の方々は、40代～50代の方々に比べ、子宮頸がん検診の検診内容や日程について「わからない」と回答した方が多いことがわかりました。公式LINEやXで情報をお届けしますので、この機会にご登録をよろしくお願いいたします。
- 乳がん・子宮頸がん検診への要望として、「検診の対象・時期・内容の詳細な情報提供」「や」市から企業へ、受診しやすいよう働きかけてほしい」が多く受け付けました。市民の皆様が受診しやすくなるよう努めてまいります。

Thank you

本調査は、久慈市の約1,300人の女性の皆様にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。本研究結果をもとに、検診を受けやすくなるよう、より一層努めてまいります。



保育所・幼稚園・認定こども園、学校での医療的ケア児支援に関する手引書

岩手県立大学 大久保牧子

医学・医療技術の進歩、在宅医療の諸施策の推進等により、救命され在宅で生活する子どもたちが増加しています。また、在宅で高度な医療行為を必要とする医療的ケア児も年々増加しています。さらに、医療的ケア児の保育所・幼稚園・認定こども園（以下「保育所等」）や、通常の小中学校への就園・就学のニーズが高まってきています。このような背景の中、児童福祉法等の一部を改正するための法律（平成28年法律第63号）に伴い、地方公共団体においては、医療的ケア児の支援に関する保健、医療、障害福祉、保育、教育等の連携の一層の推進を図るよう努めることとされました。また、令和3年6月には、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」（令和3年法律第81号。以下「支援法」）が成立し、学校の設置者の責務や教育を行う体制の拡充等も規定されました。

そこで、令和2年度に実施した「医療的ケア児・者の支援体制に関する調査」で明らかにした先進的な支援を行っている岩手県内の3市3町にヒアリング調査を実施しました。医療的ケア児の受け入れの準備状況や取組、課題について情報を収集して、医療的ケア児の就園・就学への体制整備や支援の在り方を検討しました。その結果を、「保育所・幼稚園・認定こども園・学校での医療的ケア児支援に関する手引書」にまとめました。今回のヒアリング調査から、担当部署間の情報共有や医療的ケア児等コーディネーターがキーパーソンとしての役割を担うことが、医療的ケア児の支援体制整備の要となっていることを明らかにしました。

本手引書には、すでに受け入れを行った実績のある市や、受け入れるまでの具体的なフローが出来上がっている町をモデルケースとしての実例を掲載されています。これからガイドライン作成を予定している市町村にとって、とても参考になる手引書です。

保育所・幼稚園・認定こども園、
学校での医療的ケア児支援に関する手引書



地域看護学講座の地域貢献活動

岩手県内の新卒・新任訪問看護師育成支援

平成30年度より、公益社団法人岩手県看護協会は、岩手県の委託を受け「岩手県版新人等訪問看護師育成プログラム作成事業」を実施しました。本講座教員が検討委員会・WGの委員として参画し、令和2年度に岩手県版「新卒・新任訪問看護師育成プログラム」が完成しました。令和5年度には、各プログラムの見直しを行い、追加の項目および新規技術チェックリスト（小児用）を作成しました。本講座教員が委員長として参画した（岩手県委託 新卒・新任訪問看護師育成支援委員会, 2023）の調査では、回答した77訪問看護事業所のうち30事業所が、看護職員の育成に、各プログラムを活用していました。

＜岩手県版新人等訪問看護師育成プログラム作成事業検討委員会＞
工藤 朋子 岩手県立大学看護学部 教授
野村 陽子 岩手医科大学看護学部 教授
岡田 千枝 岩手県看護学校教員協議会、岩手県立二戸高等看護学院 副院長
関りゅう子 岩手県訪問看護ステーション協議会 会長
高橋 弥栄子 岩手県医療局業務支援課 看護指導監
及川 吏智子 岩手県看護協会 会長
＜岩手県版新人等訪問看護師育成プログラム作成事業検討委員会 WG＞
高橋 栄子 ㈱ゆうゆい 訪問看護ステーションありがとう 代表取締役
鎌田 眞紀 内丸病院訪問看護ステーション 所長
三浦 和枝 岩手県看護協会居宅介護支援事業所盛岡 所長
舘 向真紀 岩手医科大学看護学部 助手
佐藤 佳子 岩手県看護教員協議会 花巻高等看護専門学校 副校長
（平成30年度）
ガルシア 小織 ㈱メディケア・システム 訪問看護ステーションメディケア 代表取締役
高岩 奈津美 岩手県立大学看護学部 助教

岩手県版
**新卒訪問看護師
育成プログラム**



岩手県版
**新任訪問看護師
育成プログラム**



I. 岩手県版新卒訪問看護師育成プログラム

本育成プログラムは、「看護職免許取得後に初めて就任する看護職」を対象とする。

1. 目的

訪問看護ステーションに就職した新卒看護職が、本育成プログラムにより地域で暮らすあらゆる年代の人々を支える訪問看護職として自立できる。

2. 目標

(1) 地域で暮らす患者や家族を支える基本的な視点が習得できる。
(2) 訪問看護に必要な専門的知識・技術などの基本能力・看護実践力を習得し、単独で訪問ができる。
(3) 訪問看護職として倫理（自尊・自律・尊厳、無危害・正義）、看護者の倫理観に基づき応対を遂行した行動ができる。
(4) 在宅ケアチームにおいて多職種と協働し役割遂行ができる。
(5) 訪問看護職として、キャリアアップを目指す自己研鑽ができる。
(6) 医療安全に誇り、患者に安全な看護技術を提供できる。
(7) 終末ケアの視点を理解し、組織の一員として行動することができる。

3. 新卒訪問看護職に必要な学習課題

(1) 訪問看護制度に基づく訪問看護の概要・特性・役割の理解
(2) 患者の心身の病歴をアセスメント方法の習得
(3) 訪問看護実践に必要な基本看護技術の習得
(4) 訪問看護実践に必要なコミュニケーションスキルの習得
(5) 訪問看護の最の特性や患者や家族の福祉性に沿った看護の提供
(6) 訪問看護の最の特性や患者や家族の福祉性に沿った看護の提供

5. 新卒訪問看護師育成プログラムの概要とスケジュール（1年目）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問看護の概要	訪問看護の概要	訪問看護の概要	訪問看護の概要	訪問看護の概要	訪問看護の概要	訪問看護の概要	訪問看護の概要	訪問看護の概要	訪問看護の概要	訪問看護の概要	訪問看護の概要	訪問看護の概要
訪問看護の特性	訪問看護の特性	訪問看護の特性	訪問看護の特性	訪問看護の特性	訪問看護の特性	訪問看護の特性	訪問看護の特性	訪問看護の特性	訪問看護の特性	訪問看護の特性	訪問看護の特性	訪問看護の特性
訪問看護の役割	訪問看護の役割	訪問看護の役割	訪問看護の役割	訪問看護の役割	訪問看護の役割	訪問看護の役割	訪問看護の役割	訪問看護の役割	訪問看護の役割	訪問看護の役割	訪問看護の役割	訪問看護の役割
訪問看護の倫理	訪問看護の倫理	訪問看護の倫理	訪問看護の倫理	訪問看護の倫理	訪問看護の倫理	訪問看護の倫理	訪問看護の倫理	訪問看護の倫理	訪問看護の倫理	訪問看護の倫理	訪問看護の倫理	訪問看護の倫理
訪問看護のコミュニケーション	訪問看護のコミュニケーション	訪問看護のコミュニケーション	訪問看護のコミュニケーション	訪問看護のコミュニケーション	訪問看護のコミュニケーション	訪問看護のコミュニケーション	訪問看護のコミュニケーション	訪問看護のコミュニケーション	訪問看護のコミュニケーション	訪問看護のコミュニケーション	訪問看護のコミュニケーション	訪問看護のコミュニケーション
訪問看護の安全	訪問看護の安全	訪問看護の安全	訪問看護の安全	訪問看護の安全	訪問看護の安全	訪問看護の安全	訪問看護の安全	訪問看護の安全	訪問看護の安全	訪問看護の安全	訪問看護の安全	訪問看護の安全
訪問看護の終末ケア	訪問看護の終末ケア	訪問看護の終末ケア	訪問看護の終末ケア	訪問看護の終末ケア	訪問看護の終末ケア	訪問看護の終末ケア	訪問看護の終末ケア	訪問看護の終末ケア	訪問看護の終末ケア	訪問看護の終末ケア	訪問看護の終末ケア	訪問看護の終末ケア

地域保健看護学での地域貢献

県内で活動する保健師の現任教育や自治体職員を対象とする各種研修会等において、講師を務めさせていただいております。

- （これまでの実績例）
- ・岩手県新人保健師研修会
 - ・岩手県新人保健師指導担当者研修会
 - ・岩手県各圏域の新任期保健師研修会
 - ・岩手県中堅期保健師研修会
 - ・岩手県中堅期保健師
 コンサルテーション事業
 - ・岩手県要保護児童対策地域協議会調整
 担当者（市町村職員）研修会
 - ・市町村保健事業担当者研修会
 - ・高齢者の保健事業と介護予防の
 一体的実施に係る研修会
 - ・久慈市国保地区協保健活動部会研修会
 - ・看護協会認定看護管理者教育課程
 ファーストレベル
 など



地域で活躍する学生たち

本講座教員が顧問を務めるピアいぶサークルでは、滝沢市教育委員会主催の「滝沢市ラーニング・サポーター・プロジェクト」に参加しています。
2025年5月21日にラーニング・サポーター・プロジェクト証明書交付式が行われ、滝沢市教育委員会教育長より代表者に証明書が授与されました。



看護学部看護学科2年 八幡遥奈

活動を通して、子どもたちの成長・発達や一人ひとりの個性に合わせたコミュニケーションの取り方を学び、身に付けたいと考えております。活動中は、教職員の皆様と子どもたちから謙虚に学ぶ姿勢を大切にしながら、教育における教員の役割と責任を理解するとともに、子どもたちと丁寧に関わり、生活がより充実したものになるようサポートしていきます。この活動で得た知識や技術を生かし、将来は子どもたちに信頼され、その子らしさを尊重した関わりができる養護教諭になりたいです。

看護学部看護学科2年 平野菜々華

この度は、ラーニングサポーターとして子どもたちと関わる機会をいただき、感謝申し上げます。

学校現場は、多くの立場の方々が協力しながら子どもたちの学びを支えている場であると思っています。先生方の教育実践から、その連携のあり方を学ばせていただきたいと思っています。

また、児童生徒の「身近な支援者」として関わる時は、一人ひとりに心を配りながら、相手に寄り添った関わりができるよう心がけます。お伺いする学校では、教育活動を支える一員となって、子どもたちの学びがより豊かなものとなるよう、誠実に取り組んでまいります。

